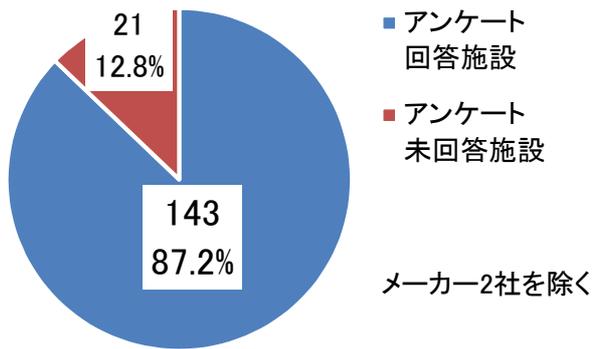
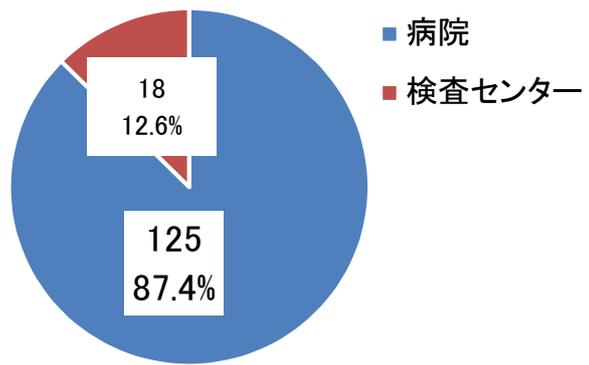


# 第45回 九州臨床検査精度管理研究会 輸血 アンケート調査報告 (平成28年度)

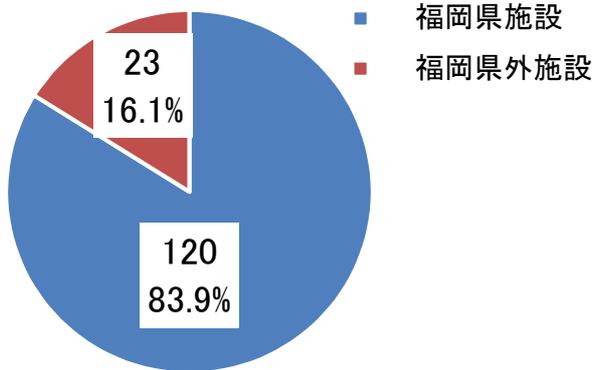
第45回 九州臨床検査精度管理 輸血 アンケート



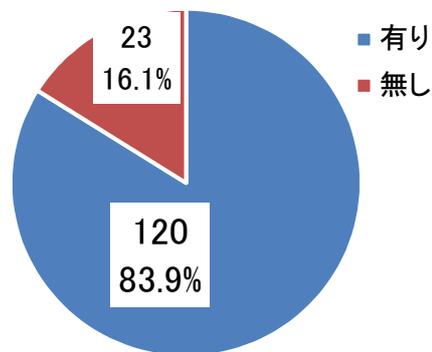
第45回 九州臨床検査精度管理 輸血 アンケート



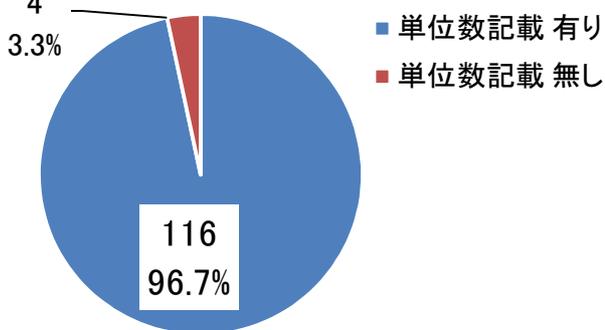
第45回 九州臨床検査精度管理 輸血 アンケート



第45回 九州臨床検査精度管理 輸血 アンケート  
RBC輸血の有無(過去1年間)



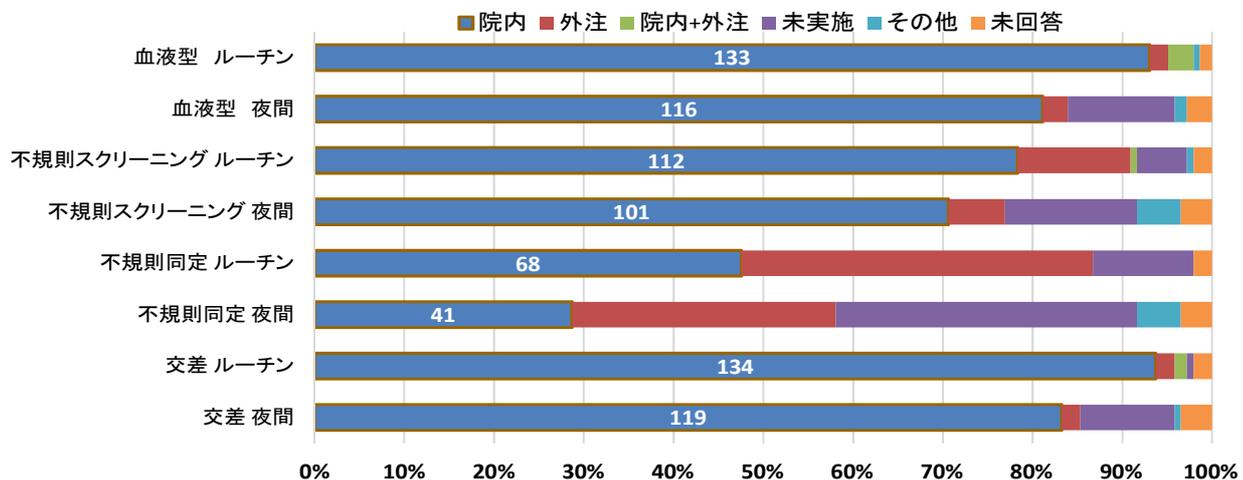
第45回 九州臨床検査精度管理 輸血 アンケート  
RBC輸血有りの施設 (n=120)

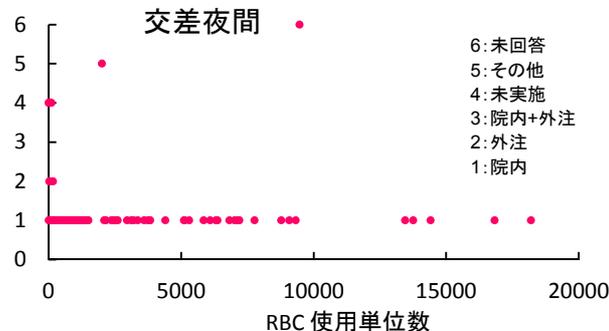
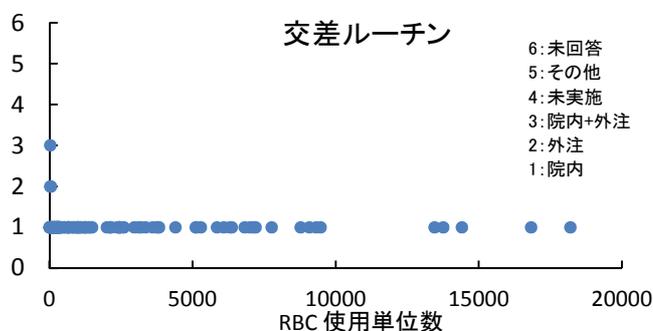
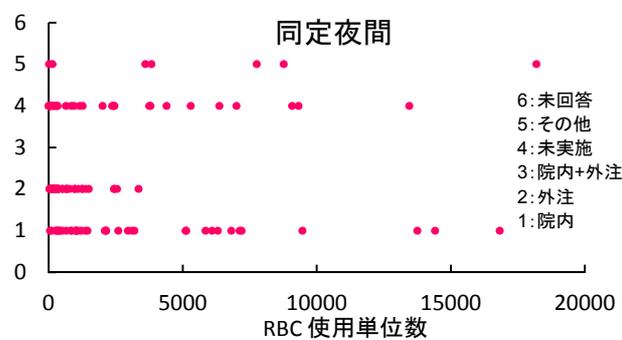
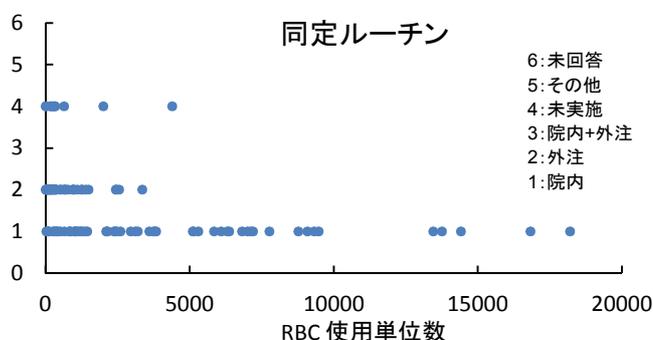
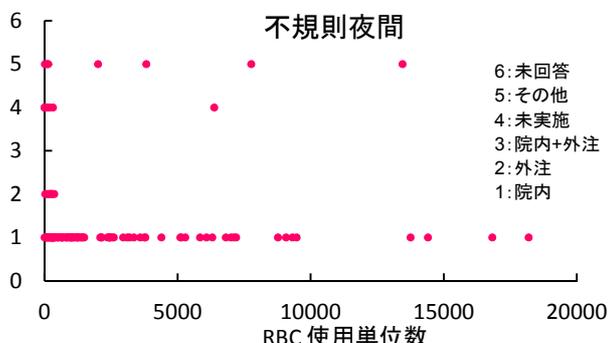
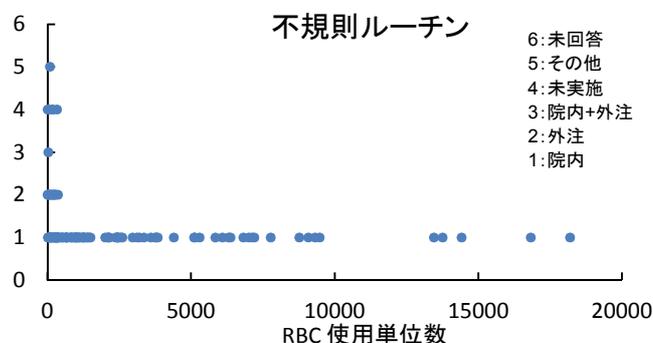
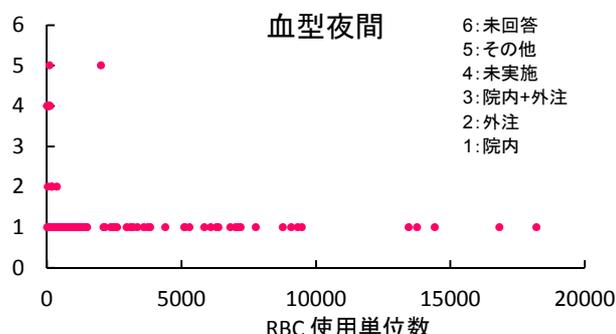
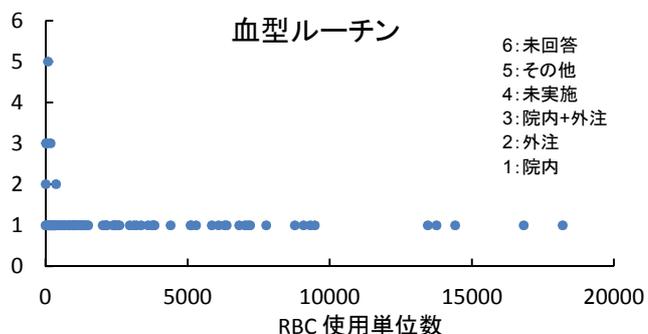


RBC集計

n数	116	施設
全使用単位数	284,041	単位
平均	2,449	単位
最高	18,200	単位
最低	6	単位

第45回 九州臨床検査精度管理 輸血アンケート  
検査体制 (n=143)





【気になる回答】

全て外注なのに、院内試験管法にて精度管理参加	1件
血液型がその中で、オモテウラの精度管理報告	1件
血液型外注だが、試験管法で精度管理の解答を行っている。	2件

【総評】

- ・アンケートの回収率は 87.2% (164施設中143施設の回答、メーカー2社を除く)であった。
- ・福岡県の施設が、全体の83.9% (143施設中120施設)であった。
- ・参加施設の約90%が、院内で血液型検査と交差適合試験を行っていた。
- ・RBC使用単位数が多くなるほど、院内での検査実施率が高くなっていったが、RBC使用単位数が多いにもかかわらず、同定検査を院内で実施していない施設も見受けられた。
- ・気になる回答では、輸血関連検査が全て外注にも関わらず、試験管法での結果が返却された施設が、3施設見受けられた。詳しく聞き取りをしていないが、アンケートの書き間違い、精度管理のみ院内で実施、外注の結果をそのまま報告したなどが考えられる。

精度管理と同時に、アンケートに回答頂いた施設の方々に、深謝致します。